

うめナビ

2014.11
Vol.32

煤塵測定環境監視機器「ダスト濃度計」国内随一！ 日本の発電・工場現場を支える技術

田中電気研究所

田中電気研究所(世田谷区経堂、田中敏文社長、03・3425・2381)は昭和24年に創業、昭和38年に株式会社として法人成りした電子機器の開発製造会社である。環境の安全・安心・信頼を測定・数値化する技術を得意とし、約20年前に開発を行った、火力発電所や製鉄所、製紙工場などで排出されるガス中の煤塵を連続的に測定する環境監視機器「ダスト濃度計」が高く評価され、火力発電所への納入実績で国内最多となっている。



同社ダスト濃度計はタイでも導入されている(左が田中社長)

高感度型ノンサンプリング光散乱式ダスト濃度計「DDM-2001」は、火力発電所、製鉄所などの大規模施設向けに納入を重ね、現在では220台ほどが大気汚染防止のために稼働している。原発が稼働していない現在、火力発電に頼る日本の電力業界でも、環境に影響を与える煤塵の発生を低く抑えた最新鋭の石炭火力発電所への納入実績が増えている。プローブ型ダスト濃度計「DDM-HAL2」は清掃工場などの小規模施設向けに新しく開発された。ともに昨年9月に公示されたダスト濃度の連続測定方法JIS8852に適合可能である。光散乱方式連続環境粉塵モニタ「EDM-2010」は、粉塵が発生する作業現場空間および敷地境界線の飛散粉塵の管理用に開発された。粉塵濃度の連続測定が可能で、集

塵機の省エネ運転にも奏効する。また、今後は放射能除染に伴う作業現場などでの粉塵モニタリングへの活用の可能性もある。日本国内でダスト濃度計の新規開発から製造販売までを行っている会社は数少ない中、ダスト濃度計の連続測定方法のJIS制定に関わり、原案作成幹事を務めた同社は、今後も市場発展に大きな存在を示すだろう。同社の経営方針「狡兎三窟」の通り賢いウサギは逃げ道を3つ持つというように、違った市場と関わり危険分散を図ることが必要である。さらに、積極的に専門展示会に出展し、そこに商社営業マンを配置することで、各地域の営業拠点を使得って国内外の販売網構築を心がけ、自社だけでなく、販売パートナーである専門機械商社にも利益が及ぶような関係を築いている。

売りは、人財・ブランド力。人に喜ばれるアイディア大好き集団「鹿児島さつま揚げを極めます!!」

シュウエイ

「挨拶・朝礼・清掃No.1を掲げています。出社時はもちろん、お客様には全員起立してご挨拶します。朝礼では姿勢、礼の仕方、発声を揃え、理念の唱和や個人の目標「my target」、そして日常の良い悪い出来事発表などを毎日欠かしません。社員の明るさと礼儀正しさは来訪者や電話対応、訪問にも活かされています」と語るのは、シュウエイ(大田区大森本町(東京支店)、小林稔夫社長、03・3768・0758、http://www.agetai-labelai.com)の小林社長だ。「会社自慢を増やそう」を合言葉に今一番に取組んでいるのが、障がい者雇用。一昨年から毎年雇用し、現在4名が働く。彼らの存在で「職場が明るくなる」と気づいた。経営指針が朝礼、会議、勉強会などを通して社員皆に浸透し、社内の雰囲気活性化していることが分かる。

今期創業60年を迎える同社は、鹿児島さつま揚げの製造と販売を手がけている。古くから伝わる「つけあげ」と呼ばれる薩摩地方の名産は、伝統的な原材料・製法を大切に、甘みとソフトな食感が特長。鹿児島県指宿市の本店では贈答品が主体で、市原市の千葉支店では業務用の商品を製造・販売・営業するなど分業して効率化を進め、全体の中核をなすのが大田区の東京支店である。



自慢の社員! 自慢の製品!



と継続的に取引をしている。伝統を守りながらも、最近ではネット販売や地元の高校とコラボした若者向けの商品開発などにも力を入れており、マーケティングと多岐にわたる売りこみに積極的だ。「決して優等生ばかりではありませんが、『人に喜ばれるアイディア大好き集団』。経営者として、多くの気づきとともに日々社員に育てられていると実感しています。地元の方に『シュウエイがあつて助かる』とたくさん言われる会社をめざし、全員参加経営に邁進中です!!」と小林社長は熱く語る。

<p>送付先業種</p>	<p>商社 13先</p>	<p>スーパー・小売・百貨店 24先</p>	<p>メーカー 18先</p>	<p>マスコミ 59先</p>	<p>教育(大学・専門学校) 31先</p>	<p>公共機関 17先</p>	<p>ホテル 14先</p>	<p>金融 53先</p>	<p>建設関連 20先</p>	<p>システム関連 11先</p>	<p>その他 75先</p>	<p>合計 335先</p>
--------------	---------------	------------------------	-----------------	-----------------	------------------------	-----------------	----------------	---------------	-----------------	-------------------	----------------	----------------

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

ビル・マンションを元気にする会社 配管のことなら 管のパイオニアのカンパイへ！

カンパイ(横浜市港北区烏山町、桑原正幸社長、電話045・

548・8191、FAX045・

548・8192、http://www.

kampai-japan.biz)は、平成21年4

月の設立以来「気持ちよく生きよ

う！」をモットーに、配管の給排水

管調査診断、再生工事、配管更新工

事、給排水管洗浄を行っている。20

〜30代の社員が中心の、活気あふ

れる会社だ。

桑原社長は「建物の血管という

べき配管も、人間と同じくいつま

でも若いままではなく、時間とと

もに劣化が進んでいくため定期的

な健康診断を行うことが大切で

す」とメンテナンスの必要性を強

調する。

同社は特許工法であるFRPラ

イニングとパシユートライニン

グ工法を採用しており、前者は排

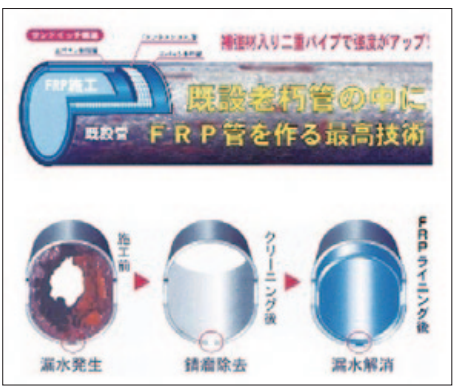
水管の中にさらに配管をつくる工

法、後者は給排水管の中にエポキ

シ樹脂を広げてコーティングする

工法である。両工法とも、従来の排

水管交換工事に比べ大幅にコスト



高い技術力で好評を得る同社は、若い社員が支えている

カンパイ



を抑えら
れること
はもちろ
ん、工期も
短縮でき
引越しの
必要も
ないため、
居住者の

負担も少ない。

桑原社長は「配管工事、メンテ
ナンスなど、建築分野の中では人
目に触れない部分ですが、実際は
お客様の生活を支える「核」となる
部分です。私たちは管工事のプロ
集団として、一つひとつの工事に
誠意をこめて取り組みます。女性も
含めた若いスタッフが中心の弊社
は、若いエネルギーを武器に+α
の満足を提供させていたくださ
す！20年後30年後まで、お客様の
生活に関わっていききたいです」と
熱く語ってくれた。

幼い胸に美しい夢と感動を！ 「子供の心の奥深いところに 一粒の素敵な情操の種をまく」

劇団飛行船(川崎市多摩区登戸、
鈴木徹社長、電話044・930・

1551、FAX044・935・

0078、http://hkosen.co.jp)

は、昭和41年の創業から変わらな

く「幼い胸に美しい夢と感動を」を

モットーに、世界の名作や日本昔

話・子供たちに人気のアニメ作品

などを、マスクプレイ・ミュージ

カルとして舞台化している。

「マスクプレイ・ミュージカル」

とは、遊園地やデパートの屋上な

どのショーとは異なり、登場する

キャラクターすべてを着ぐるみを

着用して表現する本格的な「ぬい

ぐるみ演劇」として、劇団飛行船

が考案したオリジナルネームであ

る。

昭和52年に、初の海外公演マジ

カルスペース「シンダバットの不

思議な冒険」で、香港21日間公演を

行っており、現在では中国・韓国・

台湾などの定期公演を含め、アジ

アで年間100ステージ以上を上

演するまでになった。国内では、幼

い子供たちや保護者からの力強い



鈴木徹社長



ファンタジーの世界を再現したマスクプレイ・ミュージカル

劇団飛行船

支持を受け、幼稚園・保育園の観
劇会で年間2,000前後の公演
を行っている。

ファンタジーの世界をそのま
ま表現した同劇団の作品は、「子
供たちの純粋な感性を刺激して、
心の奥深くに何か大切なものを
残したい」「子供の心の奥深い
ところに一粒の素敵な情操の種
をまく」という大切で難しい使
命に挑戦し続けている。よりハイ
クオリティなステージをめざし
て、日夜プロデュース・稽古に励
んでいる。

自慢のうなぎ重と本格会席料理 「自由が丘で うなぎといえは八沢川」



趣のある店構え

八沢川(世田谷区奥沢、佐々木利
加社長、03・3717・7950)

は、創業55年を迎える老舗蒲焼割

烹である。こだわりのうなぎと本

格会席料理を、落ち着いた佇まい

の店内でいただくことができる。

「自由が丘でうなぎといえは八沢

川」と街の人々は口を揃えて言う。

店名の由来は、等々力溪谷を流れ

る「谷沢川」から採り、末広にと

いうことで谷を八に変えて八沢川と

なった。

安心・安全・安価を心がけ

ており、「自家製にこだわ

り、自分たちが食べておいし

いと感じるものをつくり提

供する」をモットーとしてい

る同店のおすすめメニュー

は、もちろん厳選うなぎを最

高級の備長炭で焼き上げた

うなぎ重である。うなぎの身は

とても柔らかく、口に入れた

瞬間ほろりととろけていく

ような食感。タレは少し薄味

で、それがうなぎ本来の旨み

を引き出している。お米は新



うなぎ本来の旨みを味わえるうなぎ重

「祖父の代からお世話になっ
ております」と仰って足をお運び
くださる常連のお客様をはじめ、
地域の方々や長いお付き合いをさ
せていただいていることが最高の
喜びでございます」と語る若女将
の口調もあたたかく、おもてなし
の心を感じさせる。
定休日/なし
営業時間/11:30〜22:00
(日・祝は21時まで)

八沢川

誠意・熱意・創意の三意で、 国内外へ販路拡大 世界に通じる『モノづくり』を

東京精密器具製作所



取引できる販売ルートの確保につながった。これにより機械を輸出する際、間に他の業者を介さずに取引できるため、今までよりも安く製品を提供することが可能となり、お客様にも大変喜ばれる結果となった。製品はすべて日本で製造し出荷、設置に関しては現地スタッフの手がけるが、お客様の要望があれば出張も可能とのこと。

「国際化が進む現代でも、永年培った職人技を活かしながら新しいものに挑戦し続けているからこそ、国内だけにとどまらず世界に通用するモノづくりが可能になっていると思います。『関係するすべての人々の幸福を追求する』という我が社の企業理念のもと、これから常に技術力で選ばれるプロ集団として進化し続けたい」と西ヶ谷社長は語る。この社長の意気込み・機動力の高さ・柔軟な対応力が、好評価・信頼につながっている。

東京精密器具製作所(大田区北糺谷、西ヶ谷邦夫社長、03・3744・6267)は、昭和3年の創業以来、一貫して専用工作機械の設計・製作に取り組んでいる。お客様から要望や問題点などを伺い、実際の生産場面を想定した設計を実施、製造工程に必要とされる部品の製作も社内で行う。そして、すぐれた組立加工技術によって『設備としての完成度の高いもの』をつくり上げている。完成した設備は、お客様に納得いただけれるまで何度も調整作業を繰り返し、万全の状態でお届けとなる。

最近では、アジア、ヨーロッパなど西ヶ谷社長自ら海外へも幅広く足を運び、新たな販売ルートの開拓に余念がない。昨年、中小企業の海外進出促進のため企画されたインドネシア視察に参加した折も、その空き時間を使って、以前より取引のあった大手機械メーカーのジャカルタ工場を訪問した。社長の熱意が伝わり、現地工場と直接



「地域に愛される東林バーベキュー」& 「家族の幸せ創造」介護で 皆の幸せをめざす

ジオックス

ジオックス(相模原市南区上鶴間、岡本浩明社長、042・743・2518)は、小田急江ノ島線東林間駅より徒歩15分に本社を構える。現在、飲食部門1店舗(焼肉店)、介護部門7店舗(小規模デイサービス5店舗、機能訓練型デイサービス2店舗)を運営している。同社の企業理念は、事業活動を通じて地域の方々とともに成長し、お客様はもちろん、ビジネスパートナー、取引業者、従業員など関わるすべての方々が幸せになることである。

昭和44年4月に創業以来、飲食部門は地域に密着した焼肉店「東林バーベキュー」として、老若男女問わず、子供会、少年スポーツ団、中高生、会社宴会、老人会など多くのお客様に愛されている。お米は栃木県より産地直送「こしひかり」を使用するなどこだわりながらもリーズナブルな料金と、マイクロバス3台による無料送迎のサービスも、利用者から大好評である。鉄板焼は全室座敷で160名まで利用可能、ファミリィから団体様まで幅広くお使いいただける。「思う存分おいしく楽しい時間を過ごせる」と、リピーターは数多い。

介護部門は、『家族の幸せ創造企業』をめざして平成20年8月に運営を開始し、現在は相模原市・大和市・町田市に7店舗を展開している。介護事業激化の中、他社との差別化を図るため、一部店舗では専属の音楽療法士により設定された音楽プログラムを採り入れた



同社飲食部門「東林バーベキュー」



岡本社長

音楽療法「デイサービス」も行っている。毎月開催される『歌の会』は大人気であり、いつも満員御礼状態という。

岡本社長は「小規模だからこそできる介護があります。【楽しみ】を見つけ、一緒に【生きがい探し】をしてみませんか?『また来たい』そう思われ、選ばれる介護を、私たちはめざします!」と熱いメッセージを送る。

詳しくは、「東林バーベキュー」もしくは「総合在宅支援サービス(株)ジオックス」で検索!

地域貢献の形を模索 「夢を実現する」スタジオから 文化を発信!

みと富三

不動産管理業を手がける三富(大和市上草柳、井上貴雄社長、046・261・0613)の社名は、「人が富、家が富、地域が富む」という発想から命名された。

「地域が富む」ため、12年前事務所を建てた際、本業以外に何ができるだろうと考え、文化意識を高めて地域に色々な文化を発信していこうという想いから、「夢現スタジオ」という名の地下スタジオを建設した。落語会、お笑いライブ、ピアノコンサート、シンガーソングライターのコンサートなどを定期的に開催し、若い人たちの発表の場を提供している。普段着で来られる寄席として、地元の方々に大変喜ばれている。

もちろんプロの方々だけでなく、ピアノ教室の発表会、バンドや阿波踊りの練習などにもご利用

いただくことができます。また、写真スタジオとしての設備も整っており、こちらもプロ・アマチュア問わずご利用いただける。その他、会議やセミナーなどにも使用可能なマルチレンタルスペースとして、さまざまな機能を発揮している。

「出演されている方々が成長し、羽ばたいていく姿を見られることがとても嬉しく、『夢を持つ人を応援します』というキャッチフレーズで、当スタジオは活動しております。また夢を応援していく傍ら、外部イベントの企画、出演者の手配など、多面的な地域貢献活動を展開したいと考えています。今後も、地域の活性化につながる活動を続けていきたいです」と井上社長も「夢」を語る。

「あなたと一緒に、『夢を実現』するためにがんばりましょう!」



ピアノコンサートの設営



東北支援イベント開催時の様子

こだわりは、美しさを持つデザイン 五感に残る心地よい感覚をもとに 高品質な「体験」をつくる

ZEPPELIN



同社オフィスにも、「美しい」デザインへのこだわりが感じられる

か？同社では、より質の高い体験を提供するために、製品自体の使いやすさだけではなく、ユーザーが、より自然な形で心地良さを感ぜられるか、五感に強く残りやすい、心に突き刺さる感覚を得られるかを重視し、日々探究を続けている。

同社の企業理念は、「WE CREATE BEAUTIFUL WORLDS.」美しい世界を創る。サービスや製品そのものを、美しく、つくり出すことはもちろん、ユーザーの所作や表情、ライフスタイルも、美しく、デザインしたいという想いから、社会に対して本当に意義のあるものを生み出したいと考えている。

ZEPPELIN(渋谷区神宮前、鳥越康平社長、03・6805・0625、<http://www.zepelin.co.jp>)は、平成17年の設立時より、携帯電話をはじめとするデジタル製品のUX・UIデザイン、コンサルティング事業を手がけている。

「UI」は、「User Interface」人と物の接するコミュニケーション空間のこと、「UX」は「User Experience」の略で、製品やサービスを利用したり、消費したときに得られる、ユーザーの体験や満足度を指して最近頻繁に使われるようになってきた。

同じ機能をもつ携帯アプリでも、使い勝手の良し悪しで、毎日使ったり、逆に二度と使わなくなったりする経験はないだろう



鳥越康平社長

近年は、企画立案やインターフェイス設計などのコンサルティング業務に主軸を移し、平成26年度からは自社事業にも着手。新たな事業拡大の種を育てている。今後は、IT関連分野に留まらず、医療や建築など、より幅広い分野の課題解決に貢献できる企業となるべく、ミクロとマクロの両視点から、新しい価値ある体験、さまざまな「美しさ」の実現をめざしていく。

七十にして心の欲する処に従って、矩を躰えず 「シニアの知恵を、 社会に！若者に！」

じゅうしんかいくらぶ 従心会倶楽部

従心会倶楽部(港区虎ノ門、大谷武彦代表、03・6402・8138)は、「シニアが活躍する場」「シニアが交流する場」をつくらうと、60歳を過ぎても元氣いっぱいなおじさんたちが集まって平成23年に設立した会社である。

大手建設会社出身や、大手コンピュータメーカー出身の多いメンバー構成を活かした事業分野で、「若手経営者を対象とした『知命塾』の開催」、「新規株式会社への創立、NPO法人の設立のお手伝い、経営支援」「IT系資格取得への研修会、セミナーの実施」、「一級建築士事務所(東京都知事登録第57100号)としての建築総合コンサルティング」などを行っている。

今や日本の人口の4人に1人が65歳以上という超高齢社会において、永年培ってきた技能・経歴や人脈などを有効に活用して少しでも世の中の役に立てたいという想



若手経営者向け「知命塾」



IT coordinator 研修

いを実現した。

また、シニアの人たちが生き生きと元気に暮らすために、ビジネスだけでなくさまざまな交流の場を提供している。定期的な交流会の他に、各界の著名人を招いた講演会、支援している各種法人との共催による旅行会、若手クラシック演奏家によるコンサートなどが毎月のように開催されている。

こうした同社の活動内容はブログやメールマガジンによって、登録会員に配信される。現在会員は3,000名ほど、ホームページ(<http://www.jushinkai.com>)から登録可能だ(もちろん無料)。

同社名は、孔子『論語』の有名な一節「子曰、吾十有五而志于学。三十而立。七十而従心所欲不踰矩」から採った。孔子が70歳で到達した「したいように自分の心に従っても、倫理的規範から逸脱しない」という境地の通り、これからはシニア世代を柔軟にサポートしていく。

世界の研究と開発に欠かせない存在へ 「新しいカタチを つくる」をお手伝い

ニイガタ



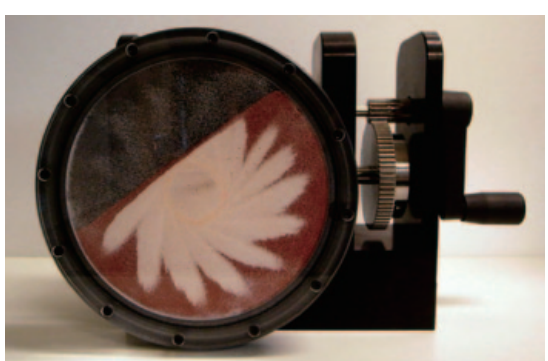
お客様の「イメージ」を「カタチ」へ 社内技術会議

階の「イメージ」を、お客様の多種多様な要望に合わせて最適な「カタチ」あるものへと提案・設計・製作する。製品価格も数千円から数千万円と、幅広い要求に対応している。

同社の強みは、透明材料の加工技術にある。高い技術力と学術的専門性を融合させ、アクリルやシリコンなどの各種透明樹脂で製作したレンズは、電子・電器機器の小ロット製品や試作品として使用される。また、細管や複雑形状の透明樹脂管をオーダーメイドで製作できるため、液体が介在する各種産業およびその基礎科学研究の発展に貢献している。

これからも、同社は「ものづくり」大国である日本の、さらには世界の根幹を支えるため、研究や開発の現場に即した製品とサービスの提供を拡大する。10年後、100年後の世界を創造するために欠かせない存在をめざしている。

ニイガタ(横浜市鶴見区駒岡、渡辺学社長、045・580・3181、<http://www.niigata.co.jp>)は、全国でも類を見ない「研究・開発事業の支援」を主業としている。同社は、実験装置・器具・治具の設計から製作まで一貫して行う。主要取引先は、輸送用機器、精密機器、情報通信、電力・ガス、食品などの製造関連企業および各種研究機関、教育機関と多岐にわたる納入実績を持ち、横浜本社と京都営業所を展開して、北海道から沖縄まで日本全国から寄せられる受注に応えている。



白色と茶色の粒子が自己形成する模様可視化実験装置